



新しい時代の問題、マーケティングを使って解決します！

オクムラ経営コンサルティングオフィス ニュースレター

Ver.4 第93号

「群衆心理」を読みました！



皆さん、お元気ですか！ あっという間に三月になりました。ほんの少し前にお正月だったのに(笑)。春に近づいているとはいえ、まだまだ寒い日が続きます。体調管理には十分にお気を付けてください。さて、今回ご紹介するのは「群衆心理」(講談社、¥1,122、ギュスターヴ・ル・ボン著、櫻井成夫訳)」です。

著者はフランスの社会心理学者です。医学を修めたあとで心理学、人類学、物理学などに関心を示し、のちに本書を発表したことで社会心理学の嚆矢になりました。本書のタイトルが群衆心理ではなく、「群衆心理」というところに意図が隠されています。群衆というキーワードを別の角度から表現すれば「衆愚」ではないかと考えられます。その一部をご紹介しますと…

「すなわち、意識的な個性が消えうせて、あらゆる個人の感情や観念が、同一の方向に向けられるのである。一つの集団的精神が生まれるのであって、これは、恐らく一時的なものではあろうが、非常にはっきりした性質を示すのである。(P26)」国や民族が違っていても人間である以上、このような集団的精神が生まれるわけですね。ある意味、納得できます。

さらに続けますと、「群衆の一般的性質の一つが、過去に暗示を受けやすいことであると述べ、そして、どのような人間の集団にあっても、暗示がどんなに感染しやすいかを示した。(P46)」暗示に使うためのツールとして、今は文章よりも映像のほうが効果的でしょうね。

極めつけはこれです。「群衆の現わす感情は、よかれ悪しかれ、極めて単純でしかも極めて誇張的であるという、二重の性質を示す。この点についても、他の多くの点についてと同じく、群衆中の個人は原始人に似ている。微妙な差異を解し得ず、物事を大まかに見て、推移の過程を知らない。(P60)」つまり、群衆にいない個人は冷静な判断ができるけど、群衆の中に埋没する個人は原始人であり、冷静な判断ができないというわけです。関西方面でいえば「アホ」ということになりますね。最近アホが多いなあ～(苦笑)。

上記はほんの導入部分で、あとの章では群衆の指導者の考え方と行動手段について論じています。あのアドルフ・ヒトラーが本書を愛読。実際、大衆操作をするために、プロパガンダ(特定の思想によって個人や集団に影響を与え、その行動を意図した方向へ仕向けようとする宣伝活動の総称)を行っていましたが、その理論的背景が本書だったわけです。今なら、習近平主席やプーチン大統領が必死に読んでいるかもしれません(笑)。

本書の中身は一級品ですが、いかんせん古い本なので、訳が漢文調です(笑)。明治期の小説を読んでいるような感覚をおぼえます。本を読み慣れていない人はチョットしんどいかもしれません。ある意味、本書は最近のお手軽本とは一線を画す内容なので、群衆の中にどっぷり浸かっている人は、まず読まないでしょうね(笑)。

オクムラ経営コンサルティングオフィス ニュースレター編集部

発行人 奥村政治

〒571-0047 大阪府門真市栄町6番9号 門真プラザ610号

発行日 2023年3月1日

TEL06-6991-9627

Email: info@1project-support.com

https://1project-support.com

Copyright 2023 オクムラ経営コンサルティングオフィス all rights reserved